

平成 29 年度
事業計画および収支予算

平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日 から
平成 30 年 (2018 年) 3 月 31 日まで

一般財団法人
九 電 み ら い 財 団

■ 事業計画

平成 29 年度は、昨年度の実施状況や評価等を踏まえ、Ⅰ環境活動（環境保全活動と環境教育活動）、及びⅡ次世代育成支援活動、Ⅲ活動の情報発信について、活動の充実を図るとともに、新規活動を実施します。

I 環境活動

1 坊ガツル湿原一帯での環境保全活動（従来活動の充実）

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を実施

(1) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）野焼き活動

- 財団と地元地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施時期や活動参加者等を決定（平成 29 年度は、7 月及び平成 30 年 2 月に実行委員会を開催予定）
- 他地域での死亡事故事例等を検証し、安全管理内容を野焼き活動マニュアルに反映

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8 月	各 100 名 程度 (計 300 名)
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9 月	
本焼き	防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く	翌 3 月	

(2) 坊ガツル湿原外来種駆除活動

内 容	湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行う
時 期	7 月
協力者	九州電力、地元の団体ほか
参加者数	50 名程度

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動、及び登山道整備

内 容	希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに、老朽化している登山道を整備
時 期	4 月 15 日、11 月
協力者	九州電力、地元の団体ほか
参加者数	各 100 名程度

2 坊ガツル湿原周辺での新規活動

- 坊ガツル湿原の「保全」と「活用」の観点から、新規活動を実施
 - ・ 湿原の保全に向け、環境省や自治体、湿原を調査するNPO等にヒアリングを行い、課題を把握し対応策を検討、実施
 - ・ また、坊ガツル湿原は、隣接するタデ原湿原に比べ来訪者が少なく、坊ガツル湿原一帯の活用を図る観点から、来訪者増加策を実施

	課題 / 施策	内容
保全	踏圧による希少植物への影響	・ 登山ルート以外への立入を制限するため、登山道の案内看板（多言語表示）を設置
	湿原の森林化	・ 野焼き活動を継続するため、当社グループから活動の実行責任者（リーダー）を育成〔H29.2～実施〕
	外来種植物の増加	・ 外来種植物の生育防止に向け、駆除活動を継続するとともに、登山道入口に種子除去マットを設置
活用	オリジナルツアー	・ 平治岳のミヤマキリシマ鑑賞と湿原へのトレッキング等のツアーを九電グループや、竹田市と企画
	ミヤマキリシマ植生保護活動の範囲拡大	・ 活動範囲を平治岳の登山道付近から、山頂北側や西側に拡大



- ・ 案内看板の設置
 - ・ 野焼き活動の後継者育成
 - ・ オリジナルツアーの企画、実施
- ミヤマキリシマ植生保護範囲の拡大

3 くじゅう九電の森（大分県由布市）での環境教育活動

- 次世代の環境保全意識の啓発、及び九州電力グループの環境保全の取組みに関する認知拡大のため、「くじゅう九電の森」において、子どもや保護者への環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林の CO2 抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の見学、間伐の見学・体験、枝切りや植樹などを体験

[次世代向け]

実施日	4月から11月の間に20回を予定
対象者	小中学生（1回あたり40～80名）
募集方法	福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内（H29年1月に実施済）

（参考：申込み状況）

地区別：福岡13回、北九州1回、大分6回

小中別：小学校18回、中学校2回

レポート：新規12回、リピーター8回

[親子向け]

実施日	5月～11月（5回）
対象者	福岡県（北九州市、福岡市）、大分県、佐賀県及びその近郊に居住する小学4年生から6年生と保護者（1回あたり80名）
募集方法	フリーペーパーへの広告掲載や、財団のFacebookでの告知、前回参加者への案内等により募集（4月を目途に実施）

II 次世代育成支援活動

- 幅広い受益者と接点を有する非営利団体が取り組む、次世代育成の活動を対象に、公募型の助成を実施

1 平成 29 年度の取組み

(1) 助成決定後の対応

- 助成団体の活動状況については、各団体から定期的に報告を受けるほか、取材を行い、財団ホームページで紹介

(2) 奨励金の贈呈

- 助成団体の今後の活動の励みにしていただくことを目的に、財団事務局が取材内容をもとに、①活動報告書、②選考委員の意見、③WEB 投票結果、④H28 及び H29 の助成の有無を踏まえ、総合的に評価し、最終的に選考委員会にて奨励金贈呈団体を決定（各 10 万円、3 団体）
 - ・ 平成 28 年度に助成した 20 団体については、4 月以降、奨励金選考用のホームページを開設し、6 月上旬を目途に決定
 - ・ 平成 29 年度の助成団体（3 月 8 日決定分）については、活動が終了する H30 年 4 月を目途にホームページで活動を紹介し、選考予定

2 平成 30 年度の助成

- 平成 30 年度の助成については、11 月頃に理事会を開催し、詳細を決定

III 活動の情報発信

- 財団のホームページや九州電力の Facebook を通じて、活動の告知や活動状況等を発信するとともに、活動募集のチラシ配布や広告掲載等を実施
- 活動の参加者や関係者以外の一般の方々にも、財団の活動を知っていただくため、九州電力の CM を活用するとともに、財団の活動を掲載したカレンダー等を新規に作成し、各活動や九州電力の活動時に配布

■ 収支予算

- ・ 収益については、九州電力株式会社ほかから事業費用 50 百万円について寄附を受ける。
- ・ 費用については、環境活動約 22 百万円、次世代育成支援活動約 18 百万円、管理費約 10 百万円の計 50 百万円とする。

	事業会計 (環境活動、次世代育 成支援活動)	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	40,000,000	10,000,000	50,000,000
受取寄付金	40,000,000	10,000,000	50,000,000
経常収益計	40,000,000	10,000,000	50,000,000
(2) 経常費用			
事業費	40,000,000	—	40,000,000
給料手当	0	—	0
法定福利費	0	—	0
諸謝金	675,000	—	675,000
旅費交通費	877,500	—	877,500
通信運搬費	4,837,000	—	4,837,000
普及宣伝費	3,565,200	—	3,565,200
渉外費	0	—	0
制作費	100,000	—	100,000
印刷製本費	458,000	—	458,000
消耗品費	957,000	—	957,000
報酬	0	—	0
会議費	5,000	—	5,000
支払助成金	14,330,000	—	14,330,000
支払手数料	74,300	—	74,300
委託費	12,250,000	—	12,250,000
ソフトウェア償却費	0	—	0
租税公課	10,000	—	10,000
雑費	1,861,000	—	1,861,000
管理費	—	10,000,000	10,000,000
給料手当	—	1,890,000	1,890,000
法定福利費	—	136,000	136,000
報酬	—	320,000	320,000
諸謝金	—	0	0
会議費	—	20,000	20,000
旅費交通費	—	576,330	576,330
通信運搬費	—	192,000	192,000
普及宣伝費	—	1,600,000	1,600,000
渉外費	—	0	0
制作費	—	50,000	50,000
印刷製本費	—	30,000	30,000
消耗品費	—	1,904,970	1,904,970
賃借費	—	324,000	324,000
リース料	—	633,600	633,600
支払手数料	—	48,000	48,000
委託費	—	2,189,100	2,189,100
ソフトウェア償却費	—	0	0
租税公課	—	86,000	86,000
雑費	—	0	0
経常費用計	40,000,000	10,000,000	50,000,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
一般正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000

以上